

第17回産業廃棄物と環境を考える全国大会 パネル討論会

資源循環の促進と排出事業者責任

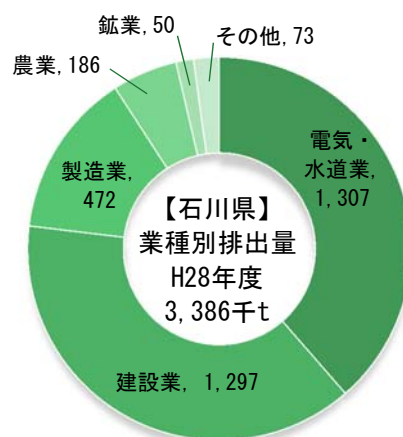
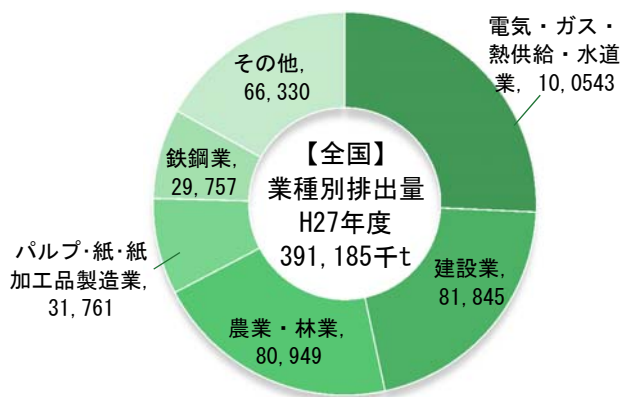
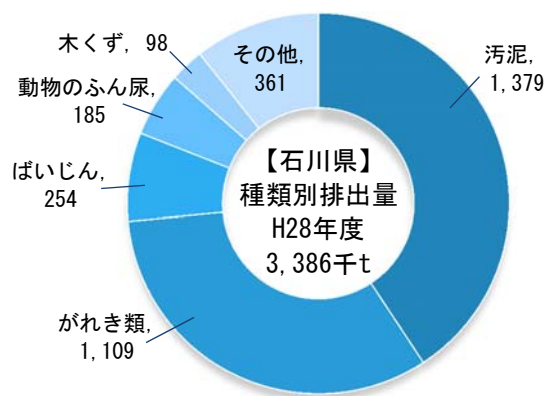
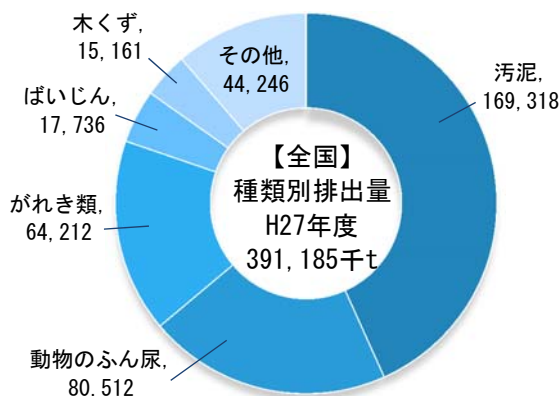


平成30年11月16日（金）
石川県生活環境部
次長 蔵本 和夫

1

産業廃棄物の排出状況

(単位：千トン)



2

廃棄物等の排出抑制・循環資源の再利用

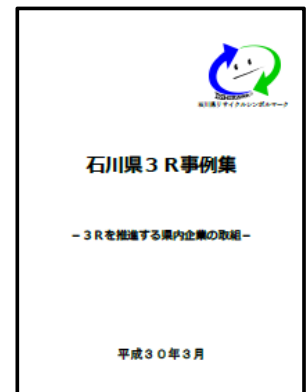
排出抑制・減量化マニュアルの策定

- 産業廃棄物の種類ごとに排出抑制・減量化の具体的な手順を示した「排出抑制・減量化マニュアル」を策定

①平成17年度：汚泥編 ②平成18年度：鉱さい編 ③平成19年度：廃プラスチック類編

3R推進アドバイザーの派遣

- * 産業廃棄物多量排出事業者※等に対して、3R推進アドバイザーを派遣し、リサイクル・廃棄物管理（分別等）に関する取組状況を診断し、企業のリサイクル活動を支援
- * 先進的な取組事例については、「3R事例集」として、県ホームページで紹介



※ 前年度の産業廃棄物発生量が1,000t以上(特別管理産業廃棄物の場合は50t以上)の排出事業者
○県内の多量排出事業者数(金沢市を含む) : 約200社……建設業、製造業、電気ガス・水道業等

3

廃棄物等の排出抑制・循環資源の再利用

事例発表会と意見交換会の開催

- 「産業廃棄物の減量化に関する事例発表と意見交換会」を開催

①産業廃棄物の資源化や減量化に向けた取り組み事例の紹介

②ワークショップ形式による意見交換会



4

循環資源の再生利用

石川県エコ・リサイクル認定製品制度 (1/2)

【目的】 県内で発生した廃棄物等をできるだけ県内で再生利用する地域完結型リサイクル社会の構築を目指し、リサイクル製品の利用推進とリサイクル産業の育成を図る。(平成10年度創設)

① 認定要件

原則として県内で発生する再生資源(廃棄物等)を利用し、県内で製造加工され、販売されていること など

② 事例

- ・古紙を利用したトイレットペーパー、事務用品(ファイルなど)
- ・廃プラスチック(ペットボトルなど)を利用した繊維製品、梱包資材
- ・焼却灰などを利用した歩道路盤材(インターロッキングブロック)など

③ 実績

【認定数】 47企業、88製品 (平成30年4月現在)

製品数	内訳			合計
	家庭・事務所	建築	土木	
	17	6	65	88



5

循環資源の再生利用

石川県エコ・リサイクル認定製品制度 (2/2)

④ 利用促進を図る取組み:

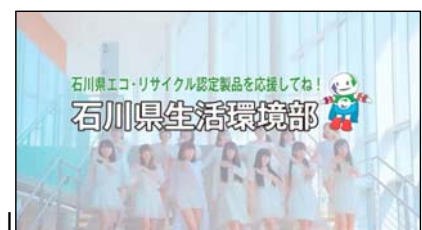
《イベントなどを活用》

- ・「ビジネス創造フェアいしかわ2018」「いしかわ環境フェア2018」に出展
- ・「県エコ・リサイクル認定製品プレゼンテーション」を開催
- ・県が主催する各種講習会などにおいて、認定製品を紹介 など



《その他取組み》

- ・県ホームページに情報を掲載
- ・テレビスポットCMにおいて呼び掛け
→『石川県エコ・リサイクル認定製品を応援してね!』
- ・「石川県グリーン購入調達方針」や、県公共工事の「特記仕様書」において、認定製品使用の努力義務などを記載 など



6

産業廃棄物の適正な処理

優良産業廃棄物処理業者の育成

【(一社)石川県産業廃棄物協会と連携】

優良認定制度
廃棄物処理法H22改正

- ①改善命令などの特定不利益処分を受けていないこと
- ②産業廃棄物の処理状況などをインターネットで公表していること
- ③ISO14001、エコアクション21等の認証を取得していること
- ④電子マニフェストシステムに加入し、利用できること
- ⑤財務体質が健全であること

①適正処理推進講習会

【年3回】

対象：排出事業者・処理業者

②情報開示セミナー

【年3回(H24～)】

対象：処理業者

③エコアクション21 取得支援セミナー

【年5回(H21～)】

対象：処理業者

④電子マニフェスト 操作体験セミナー

【年2回(H19～)】

対象：排出事業者・処理業者



←金沢市とも連携し開催→

排出事業者

- 安心して委託できる優良な産廃処理業者を容易に選択できるようになり、排出事業者責任の確実な履行を補完する。

処理業者

- 許可更新に要する事務負担が軽減され、特に広域的に事業展開する処理業者にとっては大きなインセンティブとなる。(許可の有効期間 5年→7年)
- より信頼できる優良な処理業者の育成が進む。

7

環境ビジネスの育成

循環産業育成セミナー

【目的】

発生する廃棄物を適正に処理するのみでなく、リサイクル技術のさらなる高度化や廃棄物を資源として利用する中間処理事業形態への転換など、循環型社会を担う静脈産業を活性化する。

<開催状況>

- ・ H27年度テーマ
リサイクルビジネスのいまとこれから
- ・ H28年度テーマ
多面的視点から見た産業廃棄物処理業
- ・ H29年度テーマ
廃棄物・リサイクル分野の地球温暖化対策の提言

